

横浜市立万騎が原中学校 学校だより



桐の花

令和5年

5月25日

校長 綿貫 芳人

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

「非日常体験」が創り出すもの

校長 綿貫 芳人

新学年が始まり、約2か月がたち、新しい出会いに満ち溢れた時間となりました。5月は、各学年の行事として、1年生自然体験学習「マザー牧場、潮干狩り」、2年生校外学習「浅草方面」、3年生修学旅行「奈良・京都」の実施を迎えることができました。令和4年度に行った教育活動アンケートの質問項目「各学年の校外行事は生徒に意義のある活動になっている」では、約95%の保護者の方が「そう思う、大体そう思う」と回答してくださっています。保護者の方がこのように肯定的に回答してくださっているのは、生徒が帰宅後の表情や感想、その後の学年職員からの話等でそう感じ取ってくださったのだと思います。今年度についても、誰にとっても有意義で充実した時間になっていることを期待したいと思います。

私たちの生活には日常と非日常の部分があり、日常に非日常をうまく取り入れることで、より豊かな人生を送ることができると言われていています。学校でいうと、今回の各学年の行事はまさに「非日常」であり、非日常体験は生徒たちが大きく成長できる機会といえると思います。

【非日常体験による主なメリット】

① 脳の発達にプラスの働き

新しいものを見つける楽しみや、興味を持ったことに対してワクワクすることは、脳の発達にプラスの作用がある。

② 自己肯定感が高まる

集団の中で、自分の役割や責任を果たすことにより、自分が役に立っていると感じる。

③ コミュニケーションスキルが身につく

日常ではあまり会話をしない人とやり取りすることで、共感性やコミュニケーション力が育つ。

上記3つは、主なものであり、人によっては想像以上の力をつけたりする可能性もあります。一方で、必ずしもわずか1回の行事で身につくものでもありません。しかし、私たち大人が、子どもたちがワクワクしたりする機会を与えたり、自らの役割や責任をしっかりと果たせた時や、他者と一生懸命にコミュニケーションをしようと努力している姿を認め、褒めてあげることは生徒の成長にとって間違いなく大切なことだと思います。まだまだ新学年は始まったばかりとは言え、この5月の行事への取組により、成長の小さな芽が出始めている生徒がいるかもしれません。

6月2日には体育祭も予定され、子どもファーストの学校づくりを今後も進めてまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。